

宣言草案

資本主義の不合理と破綻は既に露骨に日本の全面へ暴露された資本家階級の必死の對策も悉く水泡に歸し。その失敗の犠牲は賃銀低下労働時間の延長。労働の專制的強化資本家本位の産業合理化に依つて獨り労働階級の上にも痛々しく脊負はされて居る。インフレ景氣で莫大な収益を上げたのは資本家のみにて軍需産業部門の労働階級と雖も實質賃銀は只一途に低下の一路を辿られて居るのみである。軍需産業以外の労働階級の生活窮迫は言語に絶する悲惨なる状態に押込められて居る。

この労働階級の生活危機を資本家階級並にそれと一連の支配権力群は國際非常時の名を以て労働階級の愛國的熱情をすり替へて居る、然に日本の非常時局は斷じて戦争激發による國際非常時局に非らずして日本國家産業の資本主義的經營の破綻崩壊による行詰りから惹起される労働階級の最後の生活危機の國內非常時である。故に一九三六年を頂点として經濟界は一大混亂の狀態に化しその被害は大嵐となつて吾々労働階級に眞先に襲ひかゝつて來るであらう。その大嵐に備へ斷固微動だにせざる戦備を今より用意して置かねばならぬ